

ハイブリッド発電機参入

TRC高田
富士瓦斯

LPGとガソリン

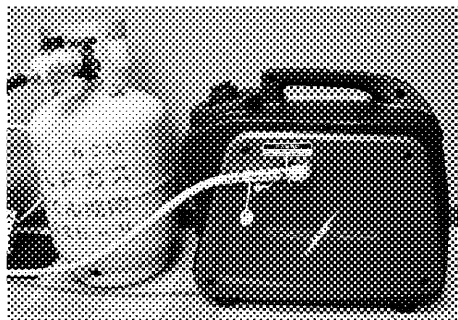
【浜松】ティーアールシー高田（TRC高田、浜松市中央区、高田修平社長）と、富士瓦斯（東京都世田谷区、津田維一社長）は、液化石油ガス（LPG）とガソリンを併用するハイブリッド型発電機の製造販売事業に参入した。TRC高田

が製造を、富士瓦斯が販売を担う。LPGの簡易性や可搬性で、いち早く発電できる機能を災害時の備えに提案する。初年度200台、5年後に1000台の販売を目指す。発売したハイブリッド発電機「Genico（ジエニコ）」写真

は発電能力1700ワット、同3200ワット、同6000ワットの3種類。消費税抜きの価格は28万7000～84万円。本体は中国から輸入したガソリン用発電機を改造する。TRC高田は自動車部品で培った技術で、LPGが通る経路部分を製造す

る。富士瓦斯は全国のLPG事業者とのネットワークの活用や防災用品関連商社などとの連携で販売する計画。

の供給地域でも非常時に向けボンベを備蓄できる。まずはLPGで発電できることを周知する。



富士瓦斯はTRC高田が製造するバッテリーを取り扱っている。

LPGは昨今、可搬性や簡易性、安全性の観点で災害発生時には重要との認識が広まっている。都市ガス